



ICE Terms & Conditions

ICE 契約と諸条件

注意深くお読みください

払い戻しとキャンセル

1. 生徒の計画の変更に関わらず、求められた預かり金の支払いに伴ったコースへの入学は全ての授業料を支払いとそのコースを受けることにおいて法的に拘束力のある契約をすることになる。そのコースが始まる前に授業料は支払われなければならない。経営者側だけがその支払いの例外に関して決める事が出来る。
2. ICE は相互に合意した授業コースを提供することを請け負う。申し合わせなしに何かしらの理由で生徒が欠席した場合には、払い戻しは不可能となる。
3. もし生徒がその期間中にコースを変更したとき、修正したコースがより少ない科目数になる場合の払い戻しは不可能となる。一般的な学生ビザを保有する学生は学校側が生徒側に対して週に最低 15 時間以上(休憩時間を除く)のフルタイムコースを受講することを忠告しなければならないことを通知されている。
4. 需要に即し、理にかなった場合においてだけコースは開講される。もし ICE によってコースがキャンセルされ、生徒が振替コースに出席する事が出来ない場合、授業料の払い戻しは既に受講した分の授業料を差し引いた額が払い戻される。
5. 予め予約したコースの生徒によるキャンセルにおいて、いかなる理由においても下記項目が適用される。
 - a) キャンセルは生徒によって提出された文書とその証明書によってなされなければならない。
 - b) 生徒がコース開始日から 7 日あるいはそれ以降にキャンセルが行われた場合に、いかなる払い戻しも不可能となる。
 - c) コース開始日の 7 日前以降にキャンセルが行われた場合、授業料の 70%が払い戻しの対象となり、授業料の 30%は学校側が保有することとなる。
 - d) コース開始日の 14 日前以降から 7 日前以前にキャンセルが行われた場合、授業料の 90%が払い戻しの対象となり、10%は学校側が保有することとなる。
 - e) コース開始日の 14 日前以前にキャンセルが行われた場合、授業料から登録費用を差し引いた全額が払い戻される。
 - f) 一對一の個別授業に関して、24 時間前の事前の連絡によるキャンセルが必要となり、それがなされなかった場合に全額支払いが課される。
6. 全生徒は住所あるいは電話番号のいかなる変更についても受付に知らせなければならない。
7. ケンブリッジ英語検定のために入学した全ての生徒はその試験時において ICE に籍を置いていることを求められる。
8. より安い価格帯(のコース)を利用するためには、コースの延長を望んでいる全ての生徒は最初の 2 週間以内に ICE に知らせなければならない。

ビザ、ビザ申請拒否と出席

9. ビザの申請拒否が起こった場合、支払済の預かり金はビザ申請拒否の原本の領収書をもって登録管理費用の£100を差し引いた額が払い戻しになります。
10. いかなる種類においても虚偽の文章に基づいた申請があった場合、預かり金は払い戻すことが出来ません。
11. ビザの交付が望んでいたよりも遅れた場合に結果としてコース期間を短くしなければならなくなった学生に対しての払い戻しは出来ません。
12. 海外学生は内務省の入国管理審査規定に従わなければ成らないことを注意しておくこと。

休暇

13. 2週間前よりも直前の知らせではコース日程の変更は不可能となります。生徒はもし先生側と受付側で了承が得られた場合に代わりの授業を同じ週内に受けられるかもしれません。6週間以内の全てのコースに関して、休暇は入学日に限り予約することができます。短いコースを予約し、それから(二週間前の知らせあるなしに関わらず)休暇を予約して、失った授業を取り替えることは許されていません。
14. 7週間以上のコースに関しては、要求する休暇の2週間前に予め休暇申請書を提出することによって休暇を予約する事が出来る。
15. 生徒は 12 週間の授業当たり 2 週間の休暇を取ることが出来る。
16. 全生徒は学校が休みとなる 2 週間のクリスマス休暇を取らなければならない。(通常、クリスマス前の最後の金曜日から 1 月の最初の月曜日までの 2 週間)。36 週以上のコースを予約している生徒は夏期の 6、7、8 月中に 2 週間の休日手当を受けなければならない。
17. 病欠し振替授業を望んでいる場合、生徒は医者からの診断書を受付に提出しなければならない。しかしながら、結果としてクラスの最大生徒数を超えない限り、担当教諭による許可がある場合には学生は非公式に欠席した授業と同じ週内に振替授業を受ける事を許可されるかもしれない。

校内での行動

18. その管理者は学生が上記の要件を満たさなかった場合あるいは、当校の一般業務に対して破壊的行動をとった場合にその学生を除籍する権利を持っている。そのような場合において、払い戻しは不可能となるでしょう。

この学校に関する契約内容説明は印刷時において正しいが、変更の対象となります。